

科目名	社会福祉演習Ⅳ J					単位	2.0
担当教員	林 博幸						
授業形態	演習	開講期間	後期	配当年次	4	授業番号	3245

●授業のテーマ

福祉政策のあるべき改革方向・展望を探る

●到達目標

これまでの学習・研究の成果をもとにして、とくに後期では自分なりの改善案や将来に向けた改革の指針を提示できるところまで深めてまとめる。そのために、社会福祉の豊かな発展を目指す様々な集団・関係者の活動や要求にも学び、現実の矛盾とその解決のために必要な条件や手がかりを明らかにする。

●学習内容(授業概要)

各自の問題意識を軸にしながら2年間の成果をゼミ論文等にまとめあげる。その内容自体を深めていくことと同時に、扱うテーマに関する文献・資料類の効果的な活用、適切な分析と整理、内容の構成、自分の考えや提言の妥当性の検証など研究のための手法を確実に習得することも追求する。同時に、プレゼンテーションやディベートの能力も高める。

また、ゼミでの学習や交流を通じて、福祉現場や地域社会に広く貢献できる資質・専門的力量的の向上を目指す。

●学習内容(授業計画)

1. 後期の狙い、ゼミ運営について
2. 各自の研究テーマの交流、発表予定の計画化
3. 社会福祉政策・制度的仕組みの今日的課題
4. 個人の研究発表と議論(児童福祉)
5. (障害者福祉)
6. (高齢者福祉)
7. (公的扶助)
8. (その他)
9. 社会福祉行政の動向を探る－話題提供と議論
10. 個人の研究発表と議論(児童福祉)
11. (障害者福祉)
12. (高齢者福祉)
13. (公的扶助)
14. (その他)
15. 2年間の総括・交流－研究成果と意味づけ

●準備学習・事後学習の内容

準備・事後ともに、ゼミ論文等の執筆・完成に向けた計画的な準備と作業を行う。論文で引用したり参考にする文献・資料類を整理したり、執筆の具体的な要領を理解しておく。

●成績評価方法・基準

- 1) 発表内容や議論への参加状況…60%

2) 研究の深化, まとめ方 …40%

●テキスト (必携)
特に用いない。

●参考文献/その他
適宜紹介したり, プリント等を配布する。

●履修上の注意
各自の研究テーマを中心にして, 文献・資料収集を日常的に行うこと。